1-Bit PROFESSIONAL MOBILE RECORDER

System Version 1.5

アップデート・ガイド

KORG

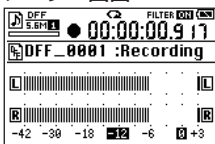
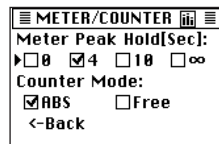
Ⓙ①

このたびは、コルグ 1ビット･プロフェッショナル･モバイル･レコーダー MR-1000をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本機をより使いやすくするためにアップデートを行いました。このため、取扱説明書と一部異なる部分がありますので、確認の上使用してください。

目次

レベル・メーター画面からのショートカット

取扱説明書10ページの「レベル・メーター画面とメニュー・リスト(MENU)画面」の説明で、“ディスプレイがレベル・メーター画面のとき、P-ダイヤルを押すとメーターの設定画面になります。”とありますが、以下のように仕様が変更になりました。

録音時（変更なし）

再生時 / 停止時

レコーダーの状態が再生、一時停止中、停止中のときは、P-ダイヤルを押すと再生モード(取扱説明書31ページ)により移動先画面が異なります。

note P-ダイヤルを長押しすると、再生モード画面(取扱説明書31ページ)に移動することができます。

再生モードが“Current Proj/File”、“Current Folder”の場合

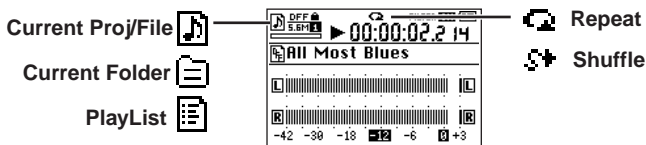
カレント・フォルダのライブラリー選択画面(取扱説明書19ページ「再生するプロジェクト/ファイルを選ぶ」)へ移動します。

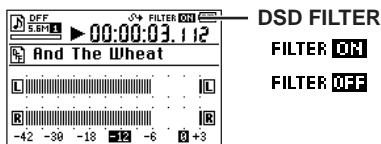
再生モードが“PlayList”の場合、プレイ・リスト画面

プレイリスト画面(取扱説明書34ページ「プレイ・リストの確認」)へ移動します。

レベル・メーター画面の変更

プレイ・モード設定表示用のアイコンを追加

現在の再生モードをレベルメーター画面にアイコンで表示するようにしました。

1bit フォーマット時のレベル・メーター画面の変更

1bitフォーマット時のレベル·メーターの値 “−12” アイコンを変更しました。これにより基準レベルの位置を明確化しています。また、DSDフィルターの設定（取扱説明書39ページ）をアイコンで表示するようにしました。

システム・メニュー関連の追加、変更

追加、変更に併せて、システム·メニュー項目の並び替えをしています。

バックライト設定に “2sec” を追加

システム設定画面のバックライト設定（取扱説明書26ページ）の点灯時間に “2sec” を追加しました。

LCD コントラストのリセット機能

画面の表示が見にくいときに、MENUボタンを長押しすると、システム設定画面の "LCD Contrast" が "8" に設定されます（取扱説明書38ページ）。
この機能はどの画面にいるときにも有効です。

ハードディスクのフォーマットの仕様変更

システム・メニューの"HDD Format"(取扱説明書40ページ)を行ってもシステム設定はリセットされないように変更しました。フォーマットを実行するとハードディスク内のMR_PROJ、AUDIOフォルダ内のプロジェクト/ファイルと MRPlayList.txtファイルはすべて消去されます(取扱説明書44ページ「ハードディスクの構成とファイル」参照)。

note システム設定をリセットしたい場合は、システム・メニューの"Factory Reset"を使用します。

システム・バージョン・アップの名称変更

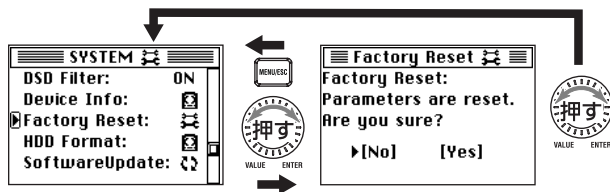
システム・メニューの"Load System"(取扱説明書41ページ)の名称を"SoftwareUpdate"に変更しました。なお、手順の変更はありません。

システム設定のリセット(工場出荷時の設定に戻す)を追加

システム・メニューにシステム設定のリセット"Factory Reset"を追加しました。これにより、本機の各種設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. **メニュー・ボタンを押して、メニュー・リスト(MENU)画面から"SYSTEM"をP-ダイヤルで選択確定します。**
   システム設定(SYSTEM)画面が表示されます。

2. **P-ダイヤルで"Factory Reset"を選択確定します。**

3. **画面に"Factory Reset. Are you sure?"とメッセージが表示されます。**

4. **P-ダイヤルで[Yes]を選択確定します。**
   やめる場合は、[No]をP-ダイヤルで選択確定する(または、メニュー・ボタンを押す)と、システム設定(SYSTEM)画面に戻ります。

5. **リセットが終わると、システム設定(SYSTEM)画面に戻ります。**

ライブラリー選択画面の変更

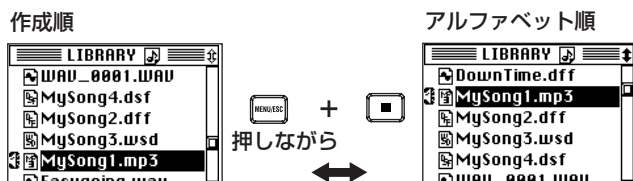
対応ファイル以外の非表示化

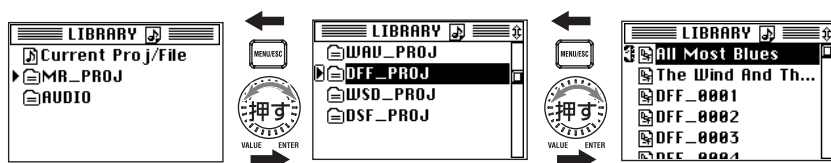
AUDIOファイル内の対応オーディオ・ファイル(取扱説明書36ページ)は表示されますが、それ以外のファイルは表示しないようにしました。

スクロール表示機能の追加

選択されているファイル名が長くて一度に表示できない場合は、自動的にスクロール表示するようにしました。

ソート機能（アルファベット順）の追加

従来は、ライブラリー選択画面のフォルダー内のプロジェクト/ファイルの並びは、作成順（FAT順）になっていましたが、アルファベット順にソートして表示できるようにしました。
MENUボタンを押しながら、停止ボタンを押す度に、ライブラリーがアルファベット順、作成順と切り替わります。

MENU ボタンの動作変更

ライブラリー選択画面から順を追って新たな画面入ったときに、MENUボタンを押す度に1つ前の画面に戻ります。

そのほかの追加、変更

メーター / カウンター画面をメニュー・リストに追加

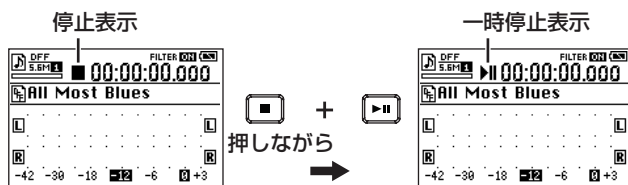
メニュー･リストにメーター/カウンター画面 “Meter/Counter” を追加しました。

メーター・ピーク・ホールド設定に“∞”を追加

メーター/カウンター画面のMeter Peak Hold（ピーク表示保持時間）設定（取扱説明書24ページ）に“∞”（常に表示）が選べるようになりました(上図参照）。
ピーク表示をリセットするときは、メーター/カウンター画面のときに、MENUボタンを押します。

クイック・プレイ機能の追加

本機は再生/ポーズ・ボタンを押してから、データを読み込んで再生を開始します（取扱説明書14ページ「再生する」）。このため、ボタンを押して再生を開始するのまでに多少のタイム・ラグが発生します。
他の機器とタイミングを合わせて再生するに便利な、クイック・プレイ機能を追加しました。

1. **停止中に停止ボタンを押しながら、再生/ポーズ・ボタンを押します。**
   レベル・メーター画面のレコーダの状態表示が一時停止になり、再生LEDが点滅します。

2. **再生/ポーズ・ボタンを押します。**
   ボタンを押したと同時に現在の停止位置から再生が始まります。

早戻しボタンの仕様変更

再生モードが"Current Folder" または "Play List" のときに再生、一時停止時に早戻しボタンを押すと再生中のプロジェクト/ファイルの先頭に戻ります。なお、停止時や先頭から数秒内の再生、一時停止時は1つ前のプロジェクト/ファイルに移動します（取扱説明書19ページ「再生するプロジェクト/ファイルを選ぶ」参照）。

プロテクト解除アイコンの変更

プロジェクト/ファイル設定画面のプロテクト解除アイコン（ → ）の視認性を高めました（取扱説明書29ページ「プロジェクトを編集できないようにする」参照）。

再生フォーマットにMP3を追加

再生できるファイル・フォーマットにMP3を追加しました。
再生できるMP3の種類は、USBモードでAUDIOフォルダに取り込んだ、サンプリング周波数44.1kHz、または48kHzのビットレート32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320kbpsのファイルです。

ISCT 本製品は、株式会社 高度圧縮技術研究所社のMP3デコーダーISC-MP3 BF532 d Korgを搭載しています。

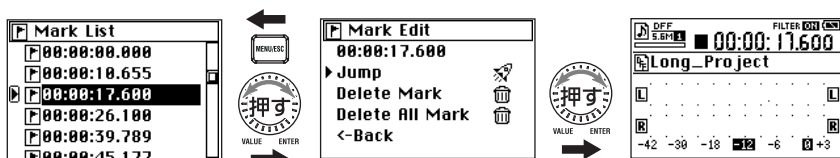
マークのジャンプ機能追加と注意

マーク編集選択（Mark Edit）画面に“Jump”と、プロジェクトのフォーマットに依存するマークの登録、時刻の編集時の注意を追加しました（取扱説明書22ページ「マークの編集」参照）。

マークのジャンプ

1. マーク・リスト（Mark List）画面から移動先のマークをP-ダイヤルで選択確定します。

マーク編集選択（Mark Edit）画面が表示されます。

2. “Jump”を選択確定すると、マーク時刻に移動後、自動的にメーター画面に戻ります。

マーク時刻の編集をして（取扱説明書22ページ「マーク時刻の編集」参照）“Jump”を選択確定して、編集後のマーク時刻に移動することもできます。

マークの登録、時刻の編集（取扱説明書 21、22 ページ）の注意

WAV、DFF、WSDプロジェクトのときは、任意の位置にマークを登録、時刻の編集を行うことができますが、DSFプロジェクトでは最小約11.6ms（Fs=2.8MHz）、約5.8ms（Fs=5.6MHz）単位でしかマークを登録、編集できません。

なお、時刻の編集をしたときは、それぞれの条件内で最も近い位置に自動的に調整されます。

録音時の画面変更

録音待機、録音中の画面表示を変更しました。

録音待機

録音中